

第4次中期経営計画 事業実施計画 令和3年度事業評価

第4次中期経営計画において取り組む事業のうち、主な事業の令和3年度の事業評価は以下の通り。

1. 公益目的事業

①専門性・独自性の高い事業展開と事業の質の向上

目標	<p>緑化普及啓発事業や公園緑地運営事業に関する実績と経験を踏まえ、独自性と専門性を活かした存在感と優位性を高める事業を展開する。</p> <p>また、利用者アンケートにより意見の把握に努めるとともに、HP や SNS 等による豊富な情報発信を活用しながら利用者の要望を事業に反映していく。</p>
総括	<p>【取組状況】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の休園やイベントの休止など施設の利用制限があった中、感染対策を講じ、野草園など各施設で特色を生かした自然観察会やガイドウォークなどのイベントを開催するとともに、市民センター、町内会、小学校などで花と緑の出張出張講座を実施し、都市緑化の推進に取り組んだ。</p> <p>各施設において利用者アンケートを実施し、利用者の意見、要望の把握に努め、令和3年度は運動公園でテニスボールを販売するなど、事業運営に反映した。</p> <p>また、情報誌の発行、協会HP やブログによるイベント情報等の発信、YouTube による各施設の自主事業や花壇講習会の情報の配信など、様々なツールを活用し、施設や自然、緑に関する情報発信を行った。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の今後の影響が見通せない中、引き続き、感染対策を徹底し、出前出張講座やガイドウォーク等の協会がもつ独自性、専門性を活かした事業を着実に展開するとともに、利用者の意見等の把握に努め事業に反映させる。</p> <p>また、様々な広報媒体を活用し、緑に関する情報を積極的に発信する。</p>

②新たな管理形態への戦略的な対応

目標	<p>指定管理における自主事業などをさらに工夫して積極的に取り組み、管理運営の信頼性の確保と利用者の拡大を図る。</p>
総括	<p>【取組状況】</p> <p>青葉区、宮城野区、太白区の運動施設公園及び葛岡斎場において、令和4年度からの指定管理者として引き続き選定され、市民サービスの向上に向けたこれまでの取り組みや安定した施設運営が認められた。</p> <p>公園 PFI への参入の可能性やクラウドファンディングについて検討するため、他都市の事例収集を行った。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>指定管理施設の管理運営を確実に行うとともに、令和4年度に募集される海岸公園パークゴルフ場の次期指定管理者の選定に向けて、プロジェクトチームを立ち上げ取り組む。また、公園 PFI やクラウドファンディングについても引き続き検討する。</p>

③市民団体、関連企業、民間団体との連携協力

目標	緑化普及啓発や公園施設の利用促進のため、今後、市民活動団体、関連企業、地域団体等関係団体との連携をより強化し、事業を展開する。
総括	<p>【取組状況】 新緑祭、花壇コンクールはコロナ禍で中止となったが、花壇づくり助成、絵画コンクール、記念樹交付事業等を実施し、市民協働による緑化活動に取り組んだ。 七北田公園では七北田公園活性化協議会や泉青年会議所が主催するイベント等に協力し、資材の提供やキッチンカーの出店など、公園利活用の向上に取り組んだ。 海岸公園では地域の関係団体とともに育樹会を5回開催し、沿岸部の緑を再生する「ふるさとの杜づくり」事業の推進を支援した。 野草園では新型コロナ対策を講じながら、市民に親しまれている萩まつりを関連企業・団体と協働により9月に開催した。 また、全国都市緑化仙台フェアの開催に向け、開催時期に合わせて学校花壇支援・花の助成やメイン会場で協会各施設のPR活動に取り組む事としたほか、野草園、海岸公園、七北田公園などで仙台フェアと連携したイベントの企画・立案を行った。</p> <p>【今後の対応】 引き続き、各施設において、関係団体と連携しながら、緑化推進に積極的に取り組む。また、令和5年度に開催される全国都市緑化仙台フェアでの連携事業の実施に向け、令和4年度は仙台市と情報共有を密にし、関係団体とも連携しながら、自主事業や連携会場での協力事業等の計画を立案し実施する。</p>

④安全・安心に向けた取り組みの推進

目標	利用者、職員の安全確保を最優先に、新型コロナウイルス感染症等に対して万全の対策を講じるとともに、消火訓練や避難訓練、AEDを使用した救命講習等に積極的に取り組む。
総括	<p>【取組状況】 仙台市から通知された新型コロナウイルス感染症関連の情報を速やかに協会全施設に周知するとともに、各施設での感染予防対策の徹底や感染が判明または疑われる職員が発生した場合の迅速な対応に努めた。 各施設において、利用者の安全確保を最優先に消防訓練、災害対応訓練、シェイクアウト訓練などを実施し、職員の安全意識の向上に取り組んだ。</p> <p>【今後の対応】 引き続き、利用者、職員の安全確保を最優先に新型コロナウイルス感染症や地震災害等に対して万全の対策を講じるとともに、職員の意識向上に取り組む。</p>

2. 収益事業

①収益率向上への取り組み強化

目標	収益向上に向けて、利用者意見はもとより、情報ネットワークを活用したイベント情報の提供など、施設のPRや情報収集の取り組みを強化する。 また、各店舗のコンセプトを明確にし、お客様のニーズに的確に対応した品揃えや快適な飲食空間の提供を図っていくとともに、冬季間の誘客についても検討する。
----	--

総括	<p>【取組状況】 八木山動物公園内のグーグーテラス及びアフリカ園売店で季節に合わせた期間限定新メニューを提供し収益向上に努めた。 また、販路拡大の試みとして、新たに動物園オリジナルの飛び出す絵本や園内マップ木製パズルを藤崎百貨店で園外販売を実施した。 七北田公園軽食喫茶（KASVICAFE）において、緑化ホールの「イルミネーション&キャンドルナイト」（12/11～12/26）に合わせ、夜間営業を実施し、特別メニューを提供し誘客へと繋げた。 八木山動物公園の正月臨時開園時（1/2・3）において、各日、来園者 200 名に「豆乳で作ったコーンスープ」を無料サービスした。</p> <p>【今後の対応】 八木山動物公園の入園者はコロナ禍で例年に比べ大きく減少し、収益事業に大きな影響を受けていることから、引き続き、様々な機会を捉え、販路拡大、誘客、売り上げ増の取り組みを積極的に進める。 また、冬季間の誘客施策についても効果検証を行いながら継続する。</p>
----	--

②新たな事業の検討

目標	<p>利用者アンケートの意見やトレンド、社会ニーズを的確に把握し、商品や新メニューの開発を積極的に進め、販路拡大のためにテイクアウトフード販売などの事業展開について調査・検討を行い、幅広く販売促進に取り組む。</p>
総括	<p>【取組状況】 アフリカ園売店でのキャッシュレス決済の導入に向けた環境整備を行い、2 月下旬から実施した。 また、アフリカ園売店において、全てのメニューをテイクアウトができるように体制を整え販売するとともに、グーグーテラスではピザ及びパスタメニュー限定でテイクアウト販売するなど、利用者の利便性向上、販路拡大に取り組んだ。</p> <p>【今後の対応】 キャッシュレス決済の実績等を検証しながら、未導入店舗への導入に向けて、検討を進める。 また、販路拡大に向け、特典サービスなどについて、引き続き検討を行う。</p>

3. 組織運営

①社会貢献等の社会的責任への対応と業務品質の向上

目標	<p>公益財団法人としての役割を果たしていくために、協会がもつ専門性・独自性をさらに磨き、これまで培ってきた研究成果や経験などの資源を有効に活用しながら、サービス向上と社会貢献に取り組んでいく。</p>
総括	<p>【取組状況】 野草園において取り組んでいる「野生サクラソウ調査事業」や、太白山自然観察の森、及び、青葉の森緑地で行っている「動植物等調査事業」について、公表に向けた準備を進めた。 海岸公園において、海岸公園再生事業モニタリング調査（5/11, 8/24, 12/21, 3/7）を</p>

	<p>実施するとともにセンターハウス周辺の自然環境調査（植物・昆虫・鳥類）を実施し、その結果を自主事業等発表会にて発表した。</p> <p>仙台スタジアムにおいて、毎月 1 回、芝生の管理実績や管理計画に係るスポーツターフ定例会議（施設管理課・スタジアム・日本体育施設等）を開催し、芝生の品質向上や新たな管理手法について検討した。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>引き続き、各施設において、専門的な研究や研修に取り組み、研究成果を公表するなど、情報発信を行う。</p>
--	--

②人材育成の充実

目標	<p>職員の能力向上と人材を育成していくために、各種講習会、研修会への参加を促し併せて資格取得などを積極的に行って、専門的な技術を向上させていく。</p>
総括	<p>【取組状況】</p> <p>刈払い機取扱者安全衛生講習、伐木作業（チェーンソー）特別講習やグリーンアドバイザー、キャンプインストラクター、パークゴルフ指導員等の講習会を受講し、職員の資格取得、更新に努めた。</p> <p>その外、仙台市や関係団体等が主催する研修を受講し、職員の能力向上、事務処理のスキルアップに努めた。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>引き続き、各種講習会、研修会に参加し、資格取得などを積極的に行い、専門的な技術の向上、事務処理のスキルアップに取り組む。</p>

③コスト縮減の徹底

目標	<p>経費の見直しや業務のプロセスなど、あらゆる場面においてコスト縮減に取り組み、職員に浸透するような検討を行いながら、業務の効率化につなげていく。</p>
総括	<p>【取組状況】</p> <p>仙台スタジアム及び葛岡斎場では、光熱水費の節減のため、自主事業計画に基づき施設内の照明をLEDに更新した。</p> <p>葛岡斎場の火葬炉設備について、二期目の指定管理期間（令和 4 年度から令和 8 年度）に実施する修繕計画を立案し、指定管理事業計画書に反映させた。</p> <p>各施設で電気、ガス、水道などの使用量の縮減に加え、事務用品も含めた資材の在庫管理台帳を作成するなど在庫管理に心掛け、コスト削減を徹底した。また、イベントも含めた各業務においても効率化を図り、経費削減に努めた。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>計画的な修繕を実施するなど、施設の保全に仙台市と連携し取り組むとともに、経費の見直しや業務のプロセスなど、あらゆる場面において、職員のコスト意識を高めながら、コスト縮減に取り組み、業務の効率化を進める。</p>